

議員提出議案第27号

パレスチナ自治区ガザ地区でのイスラエルとパレスチナの即時停戦を働きかける外交努力を求める意見書

上記の議案を提出します。

令和5年12月12日

中野区議会議長 酒井 たくや 殿

提出者 中野区議会議員

森 たかゆき

小林 ぜんいち

ひやま 隆

久保 りか

浦野 さとみ

中村 延子

パレスチナ自治区ガザ地区でのイスラエルとパレスチナの即時停戦を  
働きかける外交努力を求める意見書

今回のパレスチナ自治区ガザ地区の危機の直接の契機は、10月7日のハマスによる無差別攻撃にあります。民間人を無差別に殺傷することは国際法違反であり、それを強く非難するとともに、人質の即時解放を求めるものです。

同時に、パレスチナ自治区ガザ地区へのイスラエル軍の侵攻では、病院や難民キャンプ、救急車の車列が攻撃され、多くの民間人が犠牲になっています。

イスラエル側は1200人の死者が出るとともに、12月7日時点で、パレスチナ人の死者は1万7000人を超え、この中には7000人以上の子どもが含まれています。また、負傷者は4万6000人を超え、いまなお、人道的危機の状況は広がりを見せています。

この危機を一刻も早く止めるためには、各国政府、国際機関が、「即時停戦を」の一点で、緊急の行動をさらに強めることが必要です。

よって中野区議会は、政府に対し、双方に即時停戦を働きかける外交努力を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

年 月 日

内閣総理大臣

外務大臣

あて

内閣官房長官

中野区議会議長名